

平成 19 年度決算の概要

1 平成 19 年度決算の概要

平成 19 年度の予算編成においては、自主財源の確保に加え、行財政改革の効果額を償還財源とする行政改革推進債や退職手当債の活用を図るとともに、既存事業の見直し・廃止による新規事業への予算配分により、歳出の抑制と各部等による自主的・主体的な事業の重点・選別化を徹底するほか、行財政の簡素・効率化や経費の節減・合理化、更には補助金の見直しや職員数の削減に努め、将来にわたり持続可能な財政基盤を確立することを基本として編成したところであります。

また、予算の執行については、歳入面では、市税及び地方交付税などの一般財源や国庫支出金の確保はもとより、一部の果実運用型基金の原資取り崩しの継続や市債の発行などにより、可能な限り財源の確保に努めたうえで、財政調整基金等の取り崩しを行い収支均衡を図る一方、歳出面では、新・いわき市総合計画「ふるさと・いわき 21 プラン」実施計画に基づく事業及び施策を着実に推進するとともに、市民生活に密着した各種施策の推進と効率的な事務事業の実施に努めたところであります。

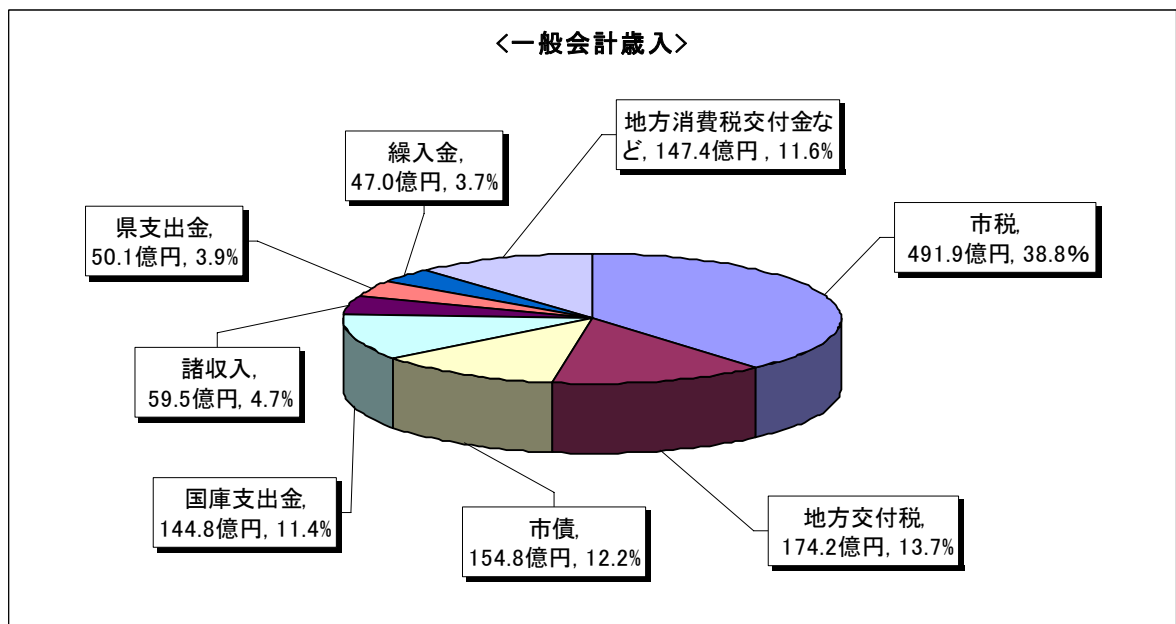
2 一般会計

平成 19 年度の一般会計決算額は、歳入総額が 1,269 億 7,514 万円、歳出総額が 1,251 億 4,094 万円でした。

このうち、本年度に繰り越した事業に充当した財源を差し引いた実質的な収支は、13 億 5,966 万円の黒字となりました。

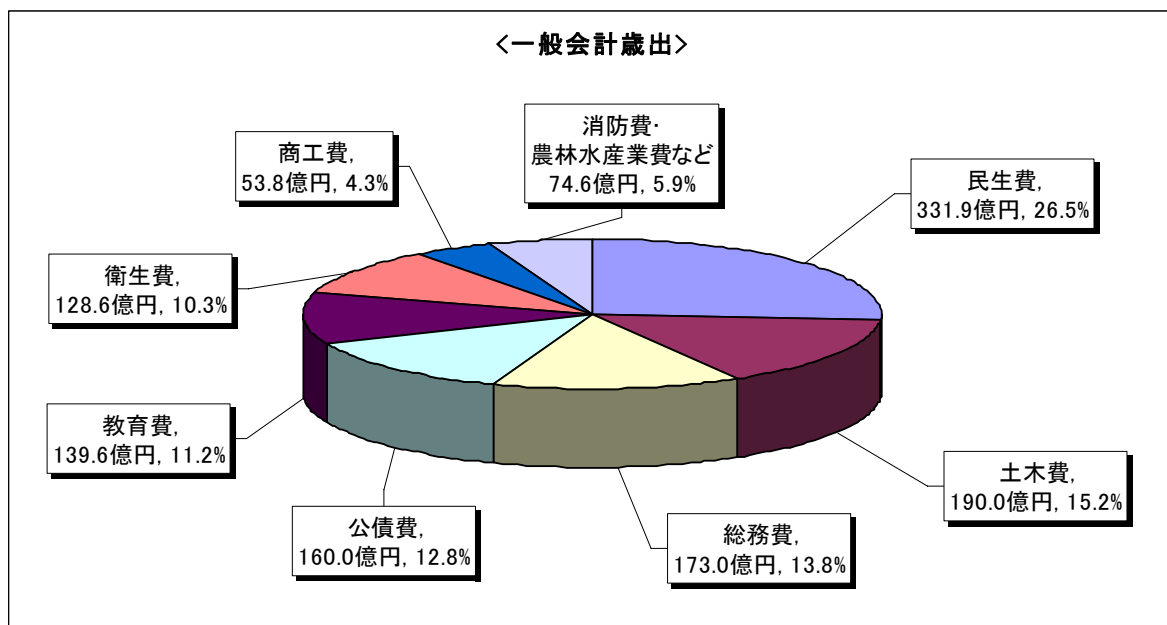
○ 歳入

歳入決算額は、前年度と比べ 25 億 8,288 万円（前年度比 2.1%）増加しました。



○ 歳出

歳出決算額は、前年度と比べ 38 億 8,815 万円（前年度比 3.2%）増加しました。



◆ 歳出の主な事業

(単位：億円)

	事業名	決算額
民生費	生活保護費	63.3
	児童手当	29.0
	私立保育所保育実施費	23.2
	障害福祉サービス事業費	21.8
	乳幼児等医療給付費	18.3
	児童扶養手当	16.5
土木費	いわき駅前地区市街地再開発事業	55.8
	道路新設改良事業	24.5
	街路事業	13.6
教育費	いわき総合図書館整備事業	24.9
	小・中学校校舎建設事業	13.6
衛生費	ごみ収集処理費	27.5
	市立病院事業	26.3
	火葬場整備事業	19.9

3 特別会計

特別会計は、国民健康保険事業など特定の事業を行う場合、特定の歳入（国民健康保険税など）をもって特定の歳出（医療費など）に充てる会計であり、一般会計と区別されます。

その内訳と決算額は次のとおりです。

(単位：億円)

会 計 名	収 入 済 額	支 出 済 額	差 引 額
国民健康保険事業	365.2	357.5	7.7
老人保健	348.6	352.6	△4.0
介護保険	211.6	208.7	2.9
母子寡婦福祉資金貸付金	0.8	0.7	0.1
土地区画整理事業	20.5	20.1	0.4
下水道事業	183.1	182.7	0.4
中央卸売市場事業	3.4	3.4	0.0
競輪事業	221.8	219.7	2.1
地域汚水処理事業	2.1	0.5	1.6
農業集落排水事業	1.5	1.5	0.0
財産区（6財産区）	0.4	0.3	0.1

4 企業会計

企業会計は、地方公営企業法の全部または一部の適用を受ける公営企業の会計で、一般会計や特別会計と区別されます。

本市では水道事業と病院事業とが該当し、その内訳と決算額は次のとおりです。

(単位：億円)

会計名	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道事業	100.9	81.8	19.1	28.3	71.9	△ 43.6
病院事業	187.8	210.5	△ 22.7	18.1	23.6	△ 5.5
合計	288.7	292.3	△ 3.6	46.4	95.5	△ 49.1

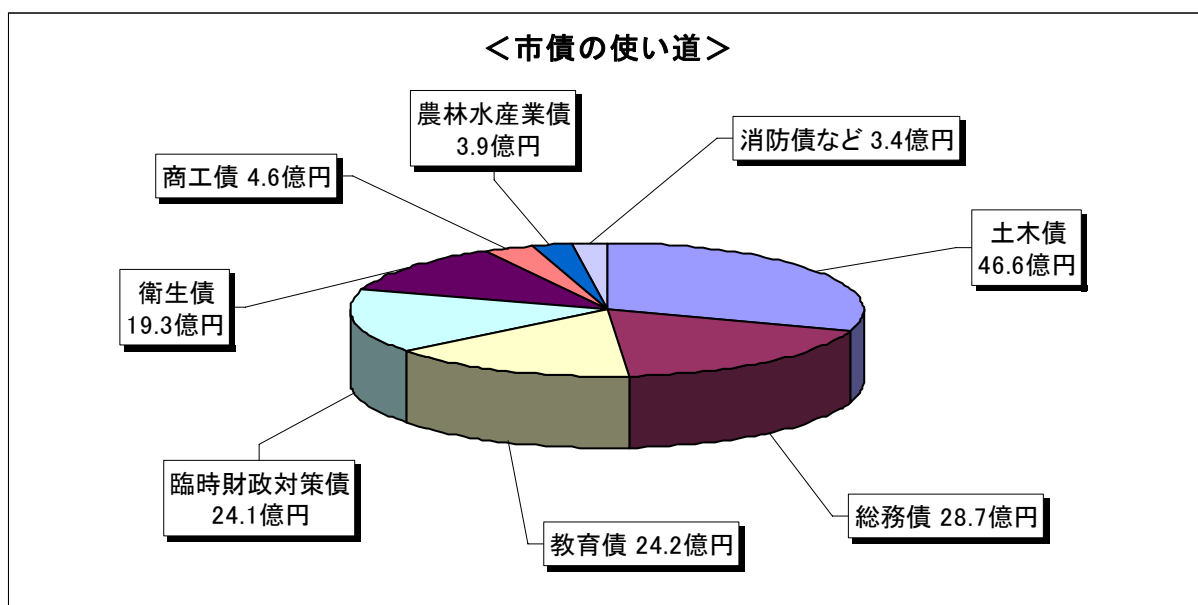
※資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などにより補てんしています。

5 市債の使い道

市債は、市が行う大規模な建設事業や災害復旧事業などに認められる借入金で、将来は利子を付けて返済します。

市債を利用して建設した学校や公園などは、市民の皆さんが将来にわたり利用するものですので、返済は後の世代の方々にも負担していただくという考えに基づいています。

市債の使い道と主な事業は次のとおりです。



◆ 市債を活用した主な事業

	事業名
土木債	道路新設改良事業 いわき駅前地区市街地再開発事業 排水路整備事業
総務債	旧音楽館改修事業
教育債	いわき総合図書館整備事業 中学校校舎建設事業
衛生債	火葬場整備事業
農林水産業債	農道・林道整備事業

6 市税負担と市民サービス

市民一人当たりのサービス内訳

区分	サービス額	負担額
市民一人当たり	359,504 円	141,314 円

※ 平成 20 年 4 月 1 日現在の人口 348,093 人で算出